

VR 認知症 プロジェクト

Project Dementia VR

認知症になると想いを表に出しづらくなり、代わりに起こす行動が“周囲には理解できないもの”と映ってしまうことが多くあります。

表面的な行動は、「徘徊」「帰宅願望」「入浴拒否」などの様々な専門用語で括られ、“認知症だから起こすもの”と思われがちです。しかし“認知症だから”ではなく、混乱する環境においては誰もが通常と違う行動を起こすものと理解し、始まったのがVR認知症プロジェクトです。

※「VR認知症」は、認知症ではない人が、バーチャルリアリティ（VR）の技術を活用し、認知症の中核症状を疑似体験するものです。

認知症の症状を自分ごととして体験することが、
新たな‘寄り添い方’を見つけるヒントにつながります。

今まで体験いただいた3,500人以上の方から、
様々な感想をいただいています。

認知症については、全て理解しているつもりでいたが、上から目線だったのかもしれない。“症状”を見て“ご本人”を見ていなかったのかもしれない。

●認知症専門医

認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいと思うと来てはなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかやっとわかった気がして涙が出た。

●介護職員

認知症に対して「大きな負」のイメージしかなかったが、体験を通じて負のイメージがなくなった。

●大学生

10年前にこの体験ができていたら自分の母親に対する介護が変わっていたかもしれない。今介護をしている家族に見てほしい。

●介護家族

今まで受けてきた講義とは全く違う理解の仕方で驚いた。VR体験の力に大変驚かされた。

●認知症認定看護師

現在父親の介護中だが早速、接し方を変えていきたいと思った。

●会社員

VR認知症体験会について

- 開催費用：お問い合わせください
- 開催規模：一度に100名様同時に体験いただけます
- 開催場所：集中して体験いただける空間とプロジェクターをご準備頂いています
- 所要時間：1.5時間～2時間
- 実施内容：VR認知症プログラムを通じて、この体験会が、ただ認知症の症状を一人称体験するだけにとどまらず、今後の皆様の行動・活動にどう活かしていけばよいのか考えていただくきっかけになるような講義となります。

「銀木犀」から生まれました



VR認知症プログラムは弊社が運営するサービス付き高齢者住宅「銀木犀」での認知症の方との暮らしからヒントを得て生まれたプログラムです。

「銀木犀」の入居者様には認知症のある方も多くおられます。ご自宅では問題行動と受け止められる行動をされていた方も「銀木犀」に入居されると穏やかになっていく…これには一定の“何か”があるのではないかと。

それを広げたい思いからVR認知症プロジェクトが生まれました。



会社概要

会社名：株式会社シルバーウッド

代表取締役：下河原忠道

一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会理事
高齢者住まい事業者団体連合会（高住連）幹事

- 沿革：
- 2000年 株式会社「シルバーウッド」を設立
薄板軽量形鋼造「スチールパネル工法」を開発
特許取得（国土交通省大臣認定）
 - 2005年 高齢者向け住宅・施設の企画開発を開始
 - 2011年 直轄運営サ高住 銀木犀<鎌ヶ谷>を開設
 - 2015年 「銀木犀」の取り組みが
アジア太平洋高齢者ケア・イノベーションアワードで最優秀賞受賞
 - 2016年 現在、設計中を含め12棟の高齢者住宅「銀木犀」を運営
「VR認知症プロジェクト」開始
 - 2017年 「VRでの認知症体験」がアジア太平洋高齢者ケア・イノベーションアワードで
「BEST SMART CARE TECHNOLOGY-SERVICE部門」最優秀賞受賞



お問い合わせ (<http://www.silverwood.co.jp/vr/>)

株式会社シルバーウッドVR事業部

お電話：03-3401-4001 メール：VR@silverwood.co.jp

